会報

茨城

IBARAKI 73 2021 FEB

The Bulletin of Ibaraki Association of Architectural Firms

https://www.i-jk.org

第33回 茨城建築文化賞



首長インタビュー［境町長にきく］

選ばれるまち 住みたいまち 境町

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

新年あけまして おめでとうございます。



一般社団法人
茨城県建築士事務所協会
会長 舟幡 健

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月に国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認され、それ以降、2月下旬には全国の小中高校に臨時休校要請が出され、3月には東京五輪の延期が決まり、4月には緊急事態宣言が全国に拡大されるなど、まさにコロナ禍の1年でございました。残念ながら、未だに感染は収束しておらず厳しい状況が続いております。

当協会におきましても、5月の令和2年度通常総会は出席者の人数を制限し時間を短縮して開催いたしましたが、総会後の懇親会、7月の大納涼会、12月の年末懇親会は中止させて頂きました。また、講習会等は8月下旬から感染予防策を十分に講じて実施しておりますが、事業によりましては中止せざるを得ないものもあり、皆様には大変申し訳なく思っております。

特に懇親会等が中止となり会員の皆様にはご迷惑をお掛けしておりますが、会員間の交流、情報交換は協会活動の重要な柱の一つでございますので、懇親会等に代わるものとして賛助会員の皆様の会社（業務）紹介冊子を作成いたしました。全ての会員にお配りいたしますので、ご活用して頂ければと存じます。また、他の事業につきましても、本年はコロナと向き合いながら進めていくことになろうかと思われますので、会員の皆様には昨年以上のご支援、ご協力をお願いいたします。

一方、建築業界に目を向けますと、今後、徐々にコロナの影響が出てくることが予想されます。協会といたしましては関連団体との連携を密にしながら要望活動などを行い、業界の発展に支障をきたすことがないよう対処していく所存でございます。また、図らずもコロナ感染拡大を受け、建築分野においても電子化の取組みが加速しており、国の方針とも相まって建築確認の電子申請、設計図書の電子保存、テレワーク、Ｗｅｂ会議等が進んでいくことが予想されます。また国においては働き方改革が推し進められておりますが、長時間労働、労働人口不足などは我々の業界が抱えている大きな課題でありますので、それらの流れを的確に捉え、建築士事務所の業務改善の推進に資するよう環境整備の取組みを進めて参ります。

また、本年も防災・災害対策に積極的に取組み、建築物の安全・安心の推進に関わっていく所存でございますので、会員の皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして、より良い年でありますよう心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。





表紙の写真／道の駅さかい
さかい河岸レストラン 茶蔵
撮影／茂垣 直樹

contents

令和3年
年頭のご挨拶 …… 01

報告●令和2年度 茨城県建築士事務所協会 表彰式 …… 02

報告●令和2年 秋の叙勲者紹介・新会員紹介 …… 05

特集●首長インタビュー 境町長にきく …… 09
選ばれるまち 住みたいまち 境町

特集●第33回 …… 13
茨城建築文化賞
コロナ電気 新社屋工場1+2期
石岡市庁舎
変わりゆく景色がある歯科医院 山王歯科
下妻中学校校舎／平成29･30年度 牛久運動公園 武道館新築工事
笠間の家／水戸の家
アイダ設計 プレカット事業部 茨城工場／さくらがわ地域医療センター
筑波山麓の古民家再生住宅／北茨城の家 古民家再生

第33回 茨城建築文化賞 講評 …… 21

報告●企画1／平成30年度 プロポーザル報告 …… 22
「なめがたファミリーホール」が完成しました

報告●企画2／住宅設計登録者募集 …… 24
お客様と設計者のマッチング

編集後記 …… 28

The Bulletin of Ibaraki Association of Architectural Firms
IBARAKI
73
2021 FEB
会報 茨城
題字／大井川 和彦（茨城県知事）
一般社団法人 茨城県建築士事務所協会
2021年2月 第73号
https://www.i-jk.org

●令和2年度 茨城県建築士事務所協会 表彰式
日 時／令和2年12月4日(金)
会 場／水戸プラザホテル
報 告／総務委員会 副委員長　横須賀 孝

報告

令和2年度 茨城県建築士事務所協会 表彰式





審査経過と講評を発表される長島一道氏

令和2年度茨城県建築士事務所協会表彰式が、去る12月4日(金)、水戸プラザホテルに於いて開催されました。

今年の5月に開催された総会においてはコロナ禍により、「第33回茨城県建築文化賞」の表彰や永年会員表彰等ができず、また同じ理由で年末懇親会も中止になった影響で、秋の叙勲受章者等の表彰が出来ないため、事務所協会表彰式という異例の形での表彰となりました。

定刻の午後1時30分に、小室晶副会長の開会の辞により表彰式が開会されました。

始めに、舟幡健会長が主催者を代表してご挨拶を行いました。

その後「第33回茨城建築文化賞」の表彰式が行われ、最優秀賞である茨城県知事賞に輝いたｂｅｗｓ／㈲ビルディング・エンバイロメント・ワークショップ一級建築士事務所「コロナ電気　新社屋工場1＋2期」をはじめ、県議会議長賞の㈱久米設計「石岡市庁舎」　県土木部長賞の㈱ａｎｄＨＡＮＤ建築設計事務所「変わりゆく景色がある歯科医院　山王歯科」　茨城新聞社賞の株式会社三上建築事務所「下妻中学校校舎」　茨城県建築士事務所協会長賞の若柳建築事務所「平成29・30年度牛久運動公園　武道館新築工事」　そのほかに住宅部門最優秀賞1点、住宅部門優秀賞1点、入賞2点、リフォーム賞2点に対し賞状と記念品が贈呈され、審査委員長の筑波技術大学教授　長島一道氏から審査経過と講評が発表されました。

次に永年会員・会員増強表彰が行われ、永年会員表彰では正会員四社に、また会員増強表彰では正会員一社に対して、舟幡会長から感謝状と共に記念品が贈呈されました。

続けて秋の叙勲受章者等の表彰を行い、旭日双光章を受章した舟幡健氏へは柴和伸名誉会長から金一封が贈呈されました。また、旭日小綬章を受章した秋山光伯氏をはじめ秋の叙勲を受章した二名と、国土交通大臣表彰等を受賞した二名それぞれへ、舟幡会長から金一封が贈呈されました。

そして最後に、茨城県建築士会の柴和伸会長よりご挨拶があり、上記叙勲者の内で建築士会員である二名へ金一封をそれぞれ贈呈いたしました。

全ての表彰が終了し、青山立美副会長の閉会の辞により無事表彰式が終了しました。

今年度はコロナ禍により異例の開催形式となりましたが、来年度は例年通りの総会や年末懇親会を開催出来ることを願っております。

最後になりましたが、会員皆様のご協力とご支援に感謝を申し上げ、表彰式の報告とさせていただきます。



県議会議長賞を受ける㈱久米設計



茨城県知事賞に輝いた
bews/㈲ビルディング・エンバイロメント・ワークショップ一級建築士事務所

今年度は異例の開催形式となりましたが、
来年度は例年通りの総会や年末懇親会を
開催出来ることを願っております。



茨城県建築士事務所協会長賞を
受ける（株）若柳建築事務所



茨城新聞社賞を受ける
（株）三上建築事務所



県土木部長賞を受ける
㈱andHAND建築設計事務所



10年以上審査に携わっていただいた
長島氏へ感謝状の贈呈



リフォーム賞を受ける
（株）カナザワ建築設計事務所



住宅部門優秀賞を受ける
（株）サンハウス一級建築士事務所



住宅部門最優秀賞を受ける
岩瀬卓也建築設計事務所



会員増強表彰を受ける
（有）ミワ総合設計



永年会員表彰を受ける中崎氏



リフォーム賞を受ける
（有）吉田建築計画事務所



年次功労者表彰を受ける
小沼氏



国土交通大臣表彰を受ける
増山氏



叙勲を授与された大平氏



TOTAL DESIGN SOLUTION FIRM

KUME SEKKEI

久米設計

代表取締役社長 藤澤 進

〒135-8567 東京都江東区潮見 2-1-22 TEL03-5632-7811 東京 札幌 東北 横浜 名古屋 京都 大阪 九州 沖縄 上海 ハノイ ホーチミン シンガポール

三上建築事務所

Kazuhiko Mashiko Architect & MIKAMI Architects

所長 益子一彦

www.mikami-arc.co.jp

東京オフィス 東京都台東区東上野 1-1-1 TEL 03-5817-8184

水戸オフィス 茨城県水戸市大町 3-4-36 TEL 029-224-0606

九州オフィス 佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 TEL 0952-37-7630



WAKAYANAGI ARCHTECTS

株式会社 若柳建築事務所

〒305-0868 茨城県つくば市台町1丁目8-1

Tel:029(886)8034 Fax:029(886)8035

URL:http://wakayanagi.co.jp

令和2年 秋の叙勲者紹介

おめでとうございます。

旭日双光章

協会 会長
(株)パル綜合設計 代表取締役会長
舟幡 健氏



旭日小綬章

協会 正会員
(株)秋山工務店 代表取締役
秋山 光伯氏



旭日双光章

協会 賛助会員
(株)大平組 取締役会長
大平 時彦氏



新会員紹介

New member introduction

2021.February

ご活躍を期待申し上げます

正会員



ワカバ建築事務所
上形 肇
〒308-0127
筑西市関本下1763番地
tel.0296-37-3042

正会員



シーズンハウス一級建築士事務所
谷畑 則行
〒310-0803
水戸市城南3-5-14
tel.029-231-8305

正会員



中島建築設計事務所
中島 剛文
〒300-1232
牛久市上柏田1-33-17
tel.029-895-6907

賛助会員



AIS総合設計株式会社
矢野 安文
〒313-0062
常陸太田市塙町3601
tel.0294-72-0876

賛助会員



昭和コンクリート工業株式会社
前田 秀明
〒310-0803
水戸市城南2-10-6
Gardens水戸601号
tel.029-227-5431

賛助会員



冨山建材株式会社
大月 義行
〒311-4143
水戸市大塚町1445-3
tel.029-251-8111

随時、新会員を募集しております。皆さまよろしくお願いいたします。

設計・監理

株式会社
須藤隆建築設計事務所

代表取締役　須藤　隆

〒 300-0034
茨城県土浦市港町 1-7-23　ホープビル 9F
TEL.029-822-4362 ㈹
FAX.029-822-4394

暮らしに寄り添う　まちの工務店
株式会社 サンハウス

代表取締役　野辺 裕章

水戸市見和2-547-3　https://sunhouse.bz
TEL029-257-6566　FAX029-257-6567

伊藤喜三郎建築研究所
K.ITO Architects & Engineers Inc.
代表取締役社長　原　勇次
本社 東京都豊島区高田 2-17-22
支店 仙台・大阪・九州
WebSite: k-ito.jp　　03-5954-7681

多くの医療福祉施設を設計した
経験と実績を基盤に
あらゆる領域にチャレンジ

建設コンサルタント
建設コンサルタント 大臣登録 建29第4858号　測量業 大臣登録 第(7)-17467号　一級建築士事務所 知事登録 第A1302号

株式会社 玄　設　計

代表取締役　川津　保

茨城県水戸市酒門町4287番3　TEL 029-**240-1480**　FAX 029-**246-2627**

㈱ カナザワ建築設計事務所
KANAZAWA Architect Design Office

310-0845
茨城県水戸市吉沢町268−3
TEL 029−246−6812
FAX 029−246−6815

建設総合コンサルタント（建築・土木・開発）
環境アセスメント・環境関連コンサルタント
有限会社　ミワ総合設計

代表取締役　渡邉昌弘

〒310-0853 茨城県水戸市平須 2-139　TEL.029-305-3222 ／ FAX.029-305-3232
E-Mail : miwaso@wonder.ocn.ne.jp

一級建築士事務所

Yoshida
Architects
Design
Office

有限会社
吉田建築計画事務所

本社：〒315-0001 茨城県石岡市石岡 1-1-8　TEL.0299-56-3246
つくば事務所：〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6　TEL.029-854-0203
https://iezukuri.co.jp/　吉田建築計画事務所

【特集】首長インタビュー

境町長にきく

選ばれるまち 住みたいまち 境町



境町長
橋本 正裕

はじめに

境町は、関東平野のほぼ中央、茨城県西南部に位置しています。利根川と江戸川の分岐点にある境町は、江戸時代には日光東街道の宿場町、江戸につながる河岸の町、人や文物が行き交う拠点として発展しました。

平成29年に茨城区間の圏央道が全線開通し、成田方面・八王子方面へもアクセスが向上しました。境古河IC周辺開発により、観光交流拠点の整備や企業誘致など、物流・交通の要所として新たな発展の契機を迎えています。茨城県は、工場立地面積4年連続一位で、近隣県に比べて工業用地代は、半額～1／3程度で見込めるということで、境町でも更なる企業誘致が盛んになるかもしれません。

橋本町長は、平成26年に就任してから独自の工夫で町の負担を減らす手法を確立し、借金を増やさない新しい公共施設の投資、運営を行い、誰もが住みやすく、選ばれるまちづくりを進めています。町長が推進している町政について、考えを語っていただきました。



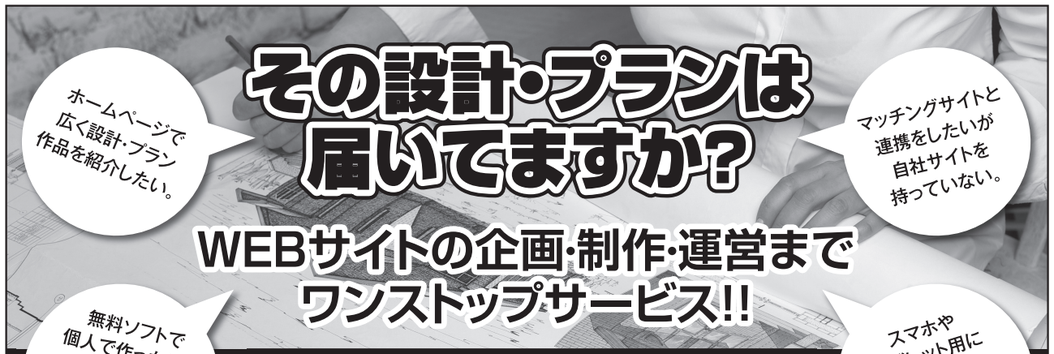
インタビュー風景



地域優良賃貸住宅



自動運転バス



●制作からアクセス解析、戦略の立案まで、お客様とともに考え「活きたサイト」をご提案します。
●今、ネットアクセスはスマホやタブレットでの閲覧が7割以上! 更に5G時代でスマホ閲覧が高まると予想されます。WEBサイト制作するならパソコンにもスマホ・タブレットにも対応できる「レスポンシブサイト」をおススメします。
◎レスポンシブサイトとは、通常パソコン閲覧用ホームページを特別な方法で、プログラムデータの書き出しをする事により閲覧している物がパソコンかスマホか等によって、その画面にあった最適な表示をするようにするサイトです。従来のように、パソコン用・スマホ用で予算をかけて2つデータを制作する必要がなくなります。

MEDIA CROSS MITO
クロスメディアプロモーションの創造とサポート
株式会社 メディアクロス水戸
〒310-0841 茨城県水戸市酒門町4269-6
TEL.029-247-4171
FAX.029-247-4696
URL https://www.mx310.jp E-mail info@mx310.jp

創業330年の実績 安全・安心・快適な住空間をご提案
株式会社 奈 良 屋
代表取締役会長 市 橋 弘 光
代表取締役社長 市 橋 薫
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町６００番地１５ TEL 029-241-5141 FAX 029-305-8733
http://www.naraya-corp.co.jp mail:naraya-m@naraya-corp.co.jp

セメント生コン販売代理店、パイル販売代理店
常陸大理石株式会社
代表取締役 梶山治夫
本 社 〒313-0042 茨城県常陸太田市磯部町132 ☎0294-72-1234（代）
東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-14 ☎03-3813-3951（代）
http://www.stone.co.jp/

重点課題　一財政再建、人口減少対策、人づくり―

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、茨城県建築士事務所協会の皆様方におかれましては、平素より公共工事をはじめ、町政全般にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げますとともに、変わらぬご協力をお願いいたします。

今日、わが国において財政の健全化・人口減少は社会的課題となっています。そうしたなか、日本が世界に負けないためにも、子供たちが社会に立ち向かっていける生活環境を作ること、境町に住む町民が「境町に住んでよかった」と思えるようなまちを創ることを目標として、政策に取り組んでいます。

具体的には、財政再建、人口減少対策、人づくりの3つを課題に掲げ、その解決のために、すべての事業が連携して機能しあうように政策を進めています。財政再建では、通常の歳出カットではなく、ふるさと納税の積極的な活用、国などの補助金の積極的な獲得などを、人口減少対策では、子育て支援、英語教育など教育に力を入れるとともに、地域優優良賃貸住宅の整備などを進めています。人づくりでは、プロフェッショナルな職員を育てるため、アフター5勉強会、国や県などへの職員派遣などに取り組んでいます。

町の負担を減らし、公共施設の運営を行う〝境町モデル〟

境町では、国の補助金や交付税措置を積極的に活用することにより、町の財政に負担のかからない公共施設の整備、運営を行う「境町モデル」を確立しました。施設整備の工費には国からの補助金などを活用して町の財政負担を軽減するとともに、完成後の管理運営は民間に委託、そこから家賃を回収することにより、町の財政負担を実質的にゼロにします。また、地域優良賃貸住宅の整備・運営については、PFI方式によって、施設の維持管理だけでなく、施設の設計、建築、改修も賃貸住宅事業のプロである民間企業が行うことにより、町の負担を実質ゼロとしています。

これらの計画を進めるに当たっては、境町では一級建築士や弁護士とアドバイザー契約を結び、専門的な視点で収支の検討、リーガルチェックを行うことで徹底的に事業計画の確認と見直しを行っています。担当課との打合せだけは、十分検討しきれないまま物事が進んでしまうことが多くありましたが、そこにアドバイザーを入れることで、実勢の単価や使用材料を的確に見直し、みんながWIN・WINとなるような円滑な仕組みを構築し、適正なもので価値ある建築（資産）ができるようになりました。

建築家 隈研吾氏の作品を中心とした地域活性化

境町では、境町モデルを利用して、世界的な建築家・隈研吾氏とのコラボによって整備した施設を中心に、宿場町として栄えたまちに再びにぎわいを取り戻すための地方創生施策「S-PROJECT」を進めています。隈研吾氏設計の建物は、サンドイッチなどを扱う「さかいサンド」（2018年10月）を始めとして、「さかい河岸レストラン茶蔵」（2019年4月）、地場産品の研究開発を行う「S-Lab」や境町ゆかり画人粛餐寶（しゅくさんぽう）の美術館「S-Gallery」（共に2020年8月）、アルゼンチンと町との友好の懸け橋となった「モンテネグロ会館」（2020年9月）がオープンし、現在


さかい河岸レストラン茶蔵


粛餐寶美術館S-Gallery


まちかどカフェ
エントランスのパース

6施設目として、町の特産品として開発中の干しいもにフォーカスした「まちかどカフェ（仮称）」（2021年4月オープン予定）を施工中です。最近では、隈研吾氏設計の建物を見学するため、町まで2～3時間かけて来る方も増え、町内を回遊する新たな人の流れも生まれてきました。

これからは、人の興味を引くアートや建築物などを町中に散りばめて、幅広く、どんな人でも訪れたくなる町にしていくことで、時代に即したまちになっていくと考えています。

地元での起業にチャレンジする人を応援

「S-PROJECT」の一環として、さかい創業支援センター「S-Start up」を活用した取り組みがあります。

「S-Start up」は、中心市街地に位置している旧法務局だった建物を町が全面的にリノベーションしたもので、デザイナーズキッチンなどの設備を、地元で起業したい方が一定期間ローコストで利用することができる施設です。オープン以降、アトリエやラーメン店、家具店、レストランと次々に入居者が決まり、既に満室の状態です。地元で起業したいけれど、資金等の様々な事情で起業できない人はたくさんいます。町では起業を志す人を応援したいと考えています。

PFIを活用した地域優良賃貸住宅

従来の町営住宅は、維持管理を役場が行っていたため、職員の人件費や管理コストがかかりましたが、PFI方式により賃貸住宅事業のプロである民間企業が事業を行うことで、質の高い賃貸住宅サービスが提供できるようになり、町が支払う人件費や管理コストの軽減が実現しました。建設費の概ね45％は社会資本整備総合交付金を充当し、残りの55％は民間事業者が資金を調達します。町は入居後の家賃収入の中から、建設費及び維持管理費を30年分割で民間事業者に支払います。入居率7割で毎年黒字となる仕組みです。

境町では2015年に神奈川県山北町や佐賀県みやき町の例を参考に、2017年からPFI方式による地域優良賃貸住宅の建設を進めてきました。主な入居対象者は子育て世帯・新婚世帯とし、家賃を低価格に抑えたことや子育て支援の拡充、仕事の創生により他県や市町村からの移住者が増えており、人口が平成29年度にプラス13人の増加、令和元年度、令和2年度も社会増を継続中です。現在では既入居者からの口コミで募集前にすぐに満室になる状況が続いており、子育てするなら境町との空気が感じられるようになっています。

日本一の子育て支援を目指して

子育て日本一を目指して、境町では、ほかにも、手厚い子育て世帯向け施策を推進しています。出産祝い品のプレゼント、20歳までの学生の医療費助成、子育て・新婚世帯への奨励金や家賃補助など、様々な子育て支援メニューを用意しています。また、2020年9月にオープンした子育て支援センター「S-WORK+KIDS」では、館内に共有型のコワーキングスペースとフリーキッチンなどを併設し、子供を遊ばせながら仕事をしていただけるほか、子育てに関する相談なども受け付けています。

さらに、町内すべての公立小中学校で先進的な英語教育を受けることができる「スーパーグローバルスクール（SGS）」事業に取り組んでおり、全国でも例を見ない先進的な取組として、他自治体などから多くの視察研修を受け入れています。具体的に



境町
〒306-0495 茨城県猿島郡境町391-1
電話　0280-81-1300（代表）
URL　https://www.town.ibaraki-askai.lg.jp/
面積:46.59平方キロメートル
（令和2年7月1日現在）
人口密度（総面積1平方キロあたり）:
561.4人（令和2年10月1日現在）
常住人口:24,061人（令和2年10月1日現在）
世帯数:8,890世帯（令和2年10月1日現在）



モンテネグロ会館



境町地場生産品研究開発施設S-Lab

は、フィリピンのマリキナ市と姉妹都市協定を締結して、ALT27人を招へいして、5歳児から英語教育を実施しています。また、ハワイ州のホノルルとは、企業版ふるさと納税を活用して実施している「境町ウィーク」の開催などを契機として、友好交流都市協定を締結し、境町の子どもたちがホノルル市への英語留学やホームステイができるよう、取組を進めています。昨年は、コロナ禍の影響で、ホノルル市へのホームステイはできませんでしたが、姉妹校となっている学校同士でオンラインの交流を行うことができました。こうした取組により、どんな収入の方でも、境町へ来れば、無料で英語を学べるという環境づくりを進めていきます。

境町の将来像

施策を進めるに当たり一番肝心なのは、マーケティングをしっかりと行い、そのなかでターゲットを確実に絞り込み、的確な政策をスピード感をもって実施することです。境町では先進的な取組を行っている全国の自治体の優れた事例に学びながら政策を進めています。実際に視察に伺い、良いと思ったら積極的にまねをし、境町に適した形で即座に取り入れています。

圏央道の開通により、境町を含む沿線自治体は発展の契機を迎えました。的確な政策をしっかりと打てば、確実に効果が表れるものと確信しています。

今後も広く全国から良いところを学び、また、互いに影響しあってより良いまちづくりを行い、境町が「選ばれるまち、住みたいまち」であり続けるよう、取り組んでいきたいと考えています。

おわりに

今、政治に求められているのは「スピード感」だけではなく、「アカウンタビリティ（説明責任）」も必要とのこと。町民に向けて納得していただけるのが最優先ですが、町議会や町職員の皆さんにも政策や考えを発表前に事前に説明しているという。そうすることで誰もが政策を説明できて、結果的に町民にも理解されるように配慮しているとのことでした。PFIの活用をはじめ、公用車を中古車にするなど、徹底的な経費の削減とあわせて、ふるさと納税や各種交付金をうまく活用した定住移住促進や自動運転バスの導入など、新しい政策を次々に打ち出す境町。「良いと思うことは、すぐに実行することが大切です。真似をしても良いので、境町にとどまらず皆が行動することで、結果的に社会全体が住みやすくなることにつながればと考えております。」

と仰っていた橋本町長。町長の舵取りを皆さんが期待し、また信頼して、ある方向へ向かって一丸となって進んでいる町が境町であるということを肌で感じた取材となりました。益々のご活躍を祈念しております。

第33回 茨城建築文化賞



茨城県知事賞［最優秀賞］コロナ電気 新社屋工場1+2期
●bews／有限会社 ビルディング・エンバイロメント・ワークショップ 一級建築士事務所

茨城県知事賞［最優秀賞］

コロナ電気 新社屋工場1+2期

●bews/有限会社 ビルディング・エンバイロメント・ワークショップ 一級建築士事務所
住所／東京都港区南麻布2-1-17 白ビル3F　電話／03-3280-2565
●協力事務所　構造／株式会社 佐藤淳構造設計事務所　電気／株式会社 設備計画
機械／有限会社 システムデザイン研究所　施工会社／東鉄工業 株式会社
●建物所在地／茨城県ひたちなか市東石川3517番地　●建物用途／工場
●構造／鉄骨造　●建築面積／2,896.35㎡　●延床面積／2,998.70㎡





「工場」という概念を壊した快適な生産拠点

創業60年目の春、東日本大震災で地域のランドマークだった旧社屋が大きく被災した。

「操業しながら建て替えを」という要望に応え、ひたちなか市初の全体計画認定を適用、8年をかけて全館が完成した。機械が機械をつくるのではなく「人間が主体」の、医療光学とは半導体機器の次世代生産拠点である。

那珂台地に座する敷地に最大の製造エリア（FL±0）とその周縁にテラス回廊（FL±1m）を廻し上部を主動線、下部を設備回廊に。更新性を実現しつつ全体に視界が抜ける「ひと続き」のコミュニケーション空間とした。構造と空調計画は中央部と周辺緒室の相互補完とし、外気取入れ空調兼旋回流による空気清浄や耐震性を合理的な形式で確保している。

「時代に応えるモノをつくる建築」ってなんだろう？と考え、既成の「工場」という概念を壊し、地域の次世代を担う「人がモノをつくる大きな家」をイメージして、快適な生産拠点を試みた。







© SATOSHI ASAKAWA

茨城県議会議長賞［優秀賞］

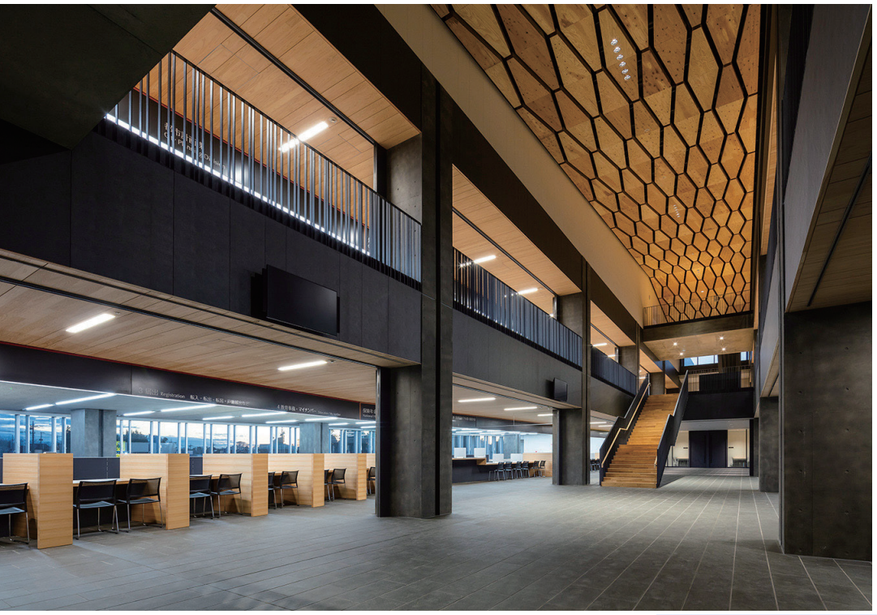
石岡市庁舎

●株式会社 久米設計　住所／東京都江東区潮見2-1-22　電話／03-5632-7310
●協力事務所　構造／伊藤央、熊王皓一　電気／深井憲治、澁谷寧浩
機械／伊藤学、田中美穂　施工会社／フジタ・平成建設 特定建設工事共同企業体
●建物所在地／茨城県石岡一丁目1番地1　●建物用途／市庁舎（事務所）　●構造／RC造一部S造
●建築面積／3,337.63㎡　●延床面積／9,913.61㎡









災害に強く自然エネルギーを取り入れた自然豊かな石岡を感じる庁舎

石岡市は古く常陸国の中心地である国府があったとされ、常陸風土記にある「常世の国」と称される古代日本の豊かな国のイメージがある。また、八郷地域に代表される自然豊かな地域性を持っており、日本百名山である筑波山が地域のシンボルとなっている。その筑波山をモチーフとし、石岡の豊かな歴史性や地域性に呼応した、まちの景となるダイナミックなシルエットの庁舎を作り出し、木屋根構造による地域産材の質感を実感できる内部空間により、自然豊かな石岡の「まちを感じる庁舎」となった。また、免震による耐震性の確保や無天井化による内部の安全性確保、災害時のエネルギーのバックアップ等の災害対策により想定外の災害や被害を想定した「災害に強いLCB庁舎」とすると共に、大屋根の「太陽熱」を空調エネルギー利用した屋根型のソーラーシステムを採用し、さらに地中熱や井戸水の利用など自然エネルギーを積極的に取り入れた「先進エコ庁舎」を実現した。





茨城県土木部長賞［優秀賞］

変わりゆく景色がある歯科医院　山王歯科

●株式会社 andHAND 建築設計事務所　住所／茨城県つくば市東新井29番地13　電話／029-855-3055
●建物所在地／茨城県桜川市高森1027　●建物用途／診療所（歯科医院）　●構造／木造　●建築面積／299.88㎡　●延床面積／298.17㎡





オープンな空間と、包まれた空間の二面性を両立した建築を未来につなぐ歯科医院





診察台から四季や時間とともに美しくうつろう景色を見下ろす「内」にいながらも「外」を感じることのできる歯科医院を実現した。四季折々の草花が植えられた庭園と、その先の公園を望めるように幅27ｍの大開口を設けた。

スタッフの移動しやすいオープンな空間と、患者が穏やかな感覚を感じることができる包まれた空間の二面性の両立を図るために、厚み105ｍｍ、高さ1150ｍｍの集成材の梁を、「診察ユニット」を基準単位とした2・4ｍ間隔で格子に組み、構造体がユニットを緩やかに隔てる。

診察台を起こした際の先に広がる内部と外部の連続した一体感と、倒した際の視線の先にある木に囲まれた空間の「半個室」感覚の中で診察を受けることのできる歯科医院とした。

外から建物を見た際には、院内に広がる木格子が浮かびあがる。

これから市の中核を担う場所で、周辺に住まう人々と建築を未来につなぐ、地域に開かれた歯科医院となった。

茨城新聞社賞［優秀賞］

下妻中学校校舎

●株式会社　三上建築事務所　住所／茨城県水戸市大町3丁目4番36号　電話／029-224-0606　●協力事務所　機械／NASファシリティデザイン室
●建物所在地／茨城県下妻市長塚字新田大道東乙37番2、37番14、37番15、長塚新田沼淵乙38番1
●建物用途／中学校　●構造／RC造（一部S造）　●建築面積／3,818.49㎡　●延床面積／8,397.89㎡

筑波山などの風景を感じながら楽しく活動的な学校生活を送れる空間









下妻中学校は砂沼の西隣に位置し、東に紫峰筑波を望むことができる場所にある。

西側の正門から正面彼方に見える筑波山に向かう軸線上にプロムナードを設け、新校舎はその軸線を協調するように１００ｍを超える長さで直線状に配置した。階ごとに異なる表情を持たせ、砂沼の水面と呼応するよう水平性を協調した。

昇降口前には学校の顔となる大屋根を掛け、懐の深い大らかな構えの空間を設けた。昇降口から中に入れば、大階段が子供たちを出迎える。休み時間の交流や多目的に使える場を校舎の中心に設けて、生徒たちが楽しく活動的な学校生活を送れるようにした。この大階段の南側に普通教室群、北側に特別教室群と、明快に機能を配置しながら、筑波山や砂沼の風景が感じられる内部空間とした。

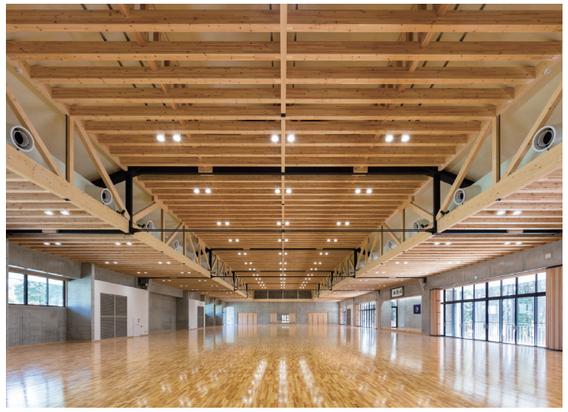
また、千鳥壁によってX・Y方向ともに耐震壁を設ける強度型の構造を実現し、扁平柱とヴォイドスラブによって凹凸のない内部空間を可能にした。

［県建築士事務所協会長賞］平成29・30年度

牛久運動公園 武道館新築工事

●株式会社 若柳建築事務所　住所／茨城県つくば市台町1丁目8番地1　電話／029-886-8034　●協力事務所　構造／株式会社 宮田構造設計事務所　施工会社／大昭・木村特定建設工事共同企業体
●建物所在地／茨城県牛久市下根町1400番地 外65筆（牛久運動公園内）　●建物用途／武道館　●構造／鉄筋コンクリート一部鉄骨造及び木造　●建築面積／1,962.29㎡　●延床面積／1,694.26㎡

和を基調とした重厚感ある道場







道場は約49・7ｍ×約22・0ｍの大きさを持ち、各種武道が公式規格で競技可能な空間である。

屋根は切妻屋根で軒を深く出すことで日照をコントロールし、省エネに配慮した。建物正面には冠木門をイメージした玄関庇を採用、重厚感があり、「和」を基調とした外観を持つ。

主構造は耐久性に優れた鉄筋コンクリート造だが、道場の上部構造は屋根の軽量化、意匠性を考慮し、木造と鉄骨造を組み合わせたハイブリッドトラス構造を採用、23ｍスパンの架構を可能としている。道場内部は、床から4・5ｍと6・7ｍのラインで木造陸梁（小屋梁）を0・5ｍピッチで設け、落ち着いて温かみのある空間を演出しており、各種メンテナンス時のキャットウォークの役割も併せ持つ。屋根構成材の各種木部材は全て集成材を使用し、木造トラス構成材には茨城県産材のヒノキ集成材を採用している。金物や金物接合部スリットが見えない様埋木処理を行った。

［住宅部門最優秀賞］笠間の家

●岩瀬卓也建築設計事務所　住所／茨城県常陸太田市稲木町866番地　電話／0294-72-6121
●建物所在地／茨城県笠間市　●建物用途／住宅　●構造／木造
●建築面積／88.22㎡　●延床面積／122.55㎡

陶芸の町で四季折々の風情を感じるための空間

陶芸の町に建つ、既存のケヤキとサクラを愛でる30代夫婦の住宅。建物の東側には、立ち上がり姿が端整なケヤキの大木がある。建物へのアプローチは、このケヤキを中心に円弧を描くように計画した。

また、建物の内部に入ってもその園路性を保つため、他の庭が足元で広がる低い開口部を設けている。敷地の南側と南東側は丘陵の山野草や果樹が茂る傾斜部に囲われ、その縁辺部には建主の原風景であるサクラが並ぶ。

1階ホールに対し、2階吹抜の開口部は桜並木に向け大きく開いた。眺めは他の季節においても丘陵の緑が非常に心地よく、プライバシーの観点からも問題なく開放的になれる場所である。

一方で和室においては丘陵の緑を直接望む開口部は設けていない。この和室は、その多様な山野草を飾り棚の一輪挿し（笠間焼）に生け、四季折々の風情を象徴的に感じるための空間として在る。陶芸の町に住むという意識が向けられた建主の思いを凝縮した設えと言える。






［入選］アイダ設計 プレカット事業部 茨城工場

●株式会社 アイダ設計　住所／埼玉県さいたま市大宮区桜川2丁目286番
電話／050-3173-2546　●協力事務所　構造／株式会社 ホルツストラー一級建築士事務所
●建物所在地／茨城県坂東市緑の里11番地　●建物用途／工場、事務所　●構造／木造、鉄骨造　●建築面積／463.73㎡　●延床面積／891.49㎡

極めてシンプルでありながらもアイデンティティを可視化した建築

住宅品質の根幹を担うプレカット工場の設計では「集成材の塊に、正確な精度管理によってノコギリを入れ、必要な部分を無駄なく取り出す」というプレカット加工の生産プロセスを建築化することをデザインのコンセプトとした。130m×100m×10mという巨大なマッス（塊）から、見学者通路・トラックバースの大庇・事務棟などの工場に必要なボリュームをスライドして取り出すという手法により、極めてシンプルで機能的な空間構成でありながらも、アイデンティティを可視化した建築となった。事務棟の大空間を木のデザイントラスで構成し、エントランスの正面壁には120角の端材をランダム貼りし、吹抜空間の壁は耐震壁を兼ねるヒノキ柱と杉板を表しとした。全71本のトラス形状は全て異なり、1本のトラスに対して4つの層の羽柄材を特殊ビスで組み合わせた工法を採用している。工場棟の約100m続く見学者通路はキャンティレバーで浮遊させて外観にダイナミズムと緊張感を生み出した。






［住宅部門優秀賞］水戸の家

●株式会社 サンハウス一級建築士事務所　住所／茨城県水戸市見和2-547-3　電話／029-257-6566
●協力事務所　構造／株式会社 エヌ・シー・エヌ 一級建築士事務所
●建物所在地／茨城県水戸市見和　●建物用途／一戸建て住宅　●構造／木造　●建築面積／63.97㎡　●延床面積／114.27㎡

地域と環境を生かした豊かな空間

地域社会、環境負荷を配慮した省エネ住宅です。

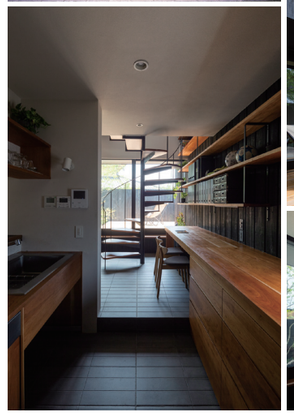
この地に育まれ成長した建主。近隣との細やかな交流はあり、建主の成長を見守ってきた住区。温暖化の緩和策としての住宅の省エネ化と対応策としての庭。前庭はベンチを設えコモンとし近所に開放。水戸の染色技術、「水戸黒」を模した外観色。

家族の成長を時間軸で整理しコンパクトながらも外部環境と呼応させ豊かな空間を目指した。

意匠・構造・温熱の三位一体を基に設計し、ZEH・耐震等級3・耐風等級3・省令準耐火を仕様としロングライフ住宅を考えた。

水戸の豊富な冬季日射量を活かすべく窓は南面に集約し日射熱を室内へ蓄熱し暖房負荷を抑えている。今冬は無暖房での生活を送ることができている。一方、太陽高度が高くなる夏季は、軒の出、袖壁、格子戸、植栽等の建築的工夫で日射遮蔽を行い町並みに配慮した。

住まいの省エネ化や地域特性を生かしたデザインは、住まい手だけでなく町並みや社会を豊かに出来ると信じている。



［入選］さくらがわ地域医療センター

●株式会社 伊藤喜三郎建築研究所、株式会社 andHAND建築設計事務所
住所／東京都豊島区高田2丁目17-22 目白中野ビル、茨城県つくば市東新井29番地13　電話／03-5954-7681、029-855-3055　●協力事務所　構造／株式会社 オムニ設計
●建物所在地／茨城県桜川市高森1000　●建物用途／病院　●構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造　●建築面積／5,318㎡　●延床面積／10,400.99㎡

地域に根差し災害に強く人命を守り抜く病院

さくらがわ地域医療センターは、桜川市と筑西市の既存病院を再編統合する一環で計画された。一次救急を担いつつ、院内に健診センター、訪問看護ステーションを併設し幅広いサービスを提供する。立面は遠方に望む筑波山の稜線をイメージし、真壁地区伝統の藍染をイメージした藍色のタイルや特産の「稲田石」を、またエントランスホール正面に「真壁石」を使用する等、地域に根差す病院デザインを目指した。1階の外来部門では、各ブロック受付を雁行させて視認性の高いユニバーサルデザインとし、2階は一般病棟と手術室、3階には療養病棟とリハビリ室を設ける等、関連性の高い部門を同フロアに配置している。災害に強く医療を継続し人命を守り抜く病院とするために、大庇下を屋外トリアージスペースとして活用し、初療は1階で完結する計画とした。さらに約3日間の非常用発電機と太陽光発電を設置し、災害時にも機能を発揮し続ける病院を目指した。







［リフォーム賞］

筑波山麓の古民家再生住宅

●株式会社 カナザワ建築設計事務所　住所／茨城県水戸市吉沢町268-3　電話／029-246-6812　●協力事務所　施工会社／木内建築工業
●建物所在地／茨城県つくば市　●建物用途／専用住宅　●構造／木造　●建築面積／187.79㎡　●延床面積／187.79㎡

昔の雰囲気を残しつつ自然素材で改修した機能性ある家

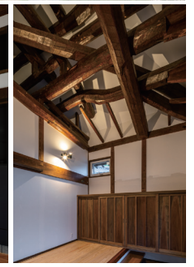
筑波山麓にある民家。敷地内を流れる小川によって、常に穏やかな水の音が聞こえる。

住まいは母屋と廊下で繋がった離れで構成されている。離れは昔、土浦市内にあったお城の城内から移築されてきたといわれており、面付柱、面白いデザインの障子、襖が大きな特徴。施主からは、できるだけ改修前の雰囲気を残すことと、全て自然素材で作るという要望があった。プランのポイントは南側の部屋はできるだけ壁、天井を残し、北側に水廻りを集中させ機能的に使いやすく改修する方向で、提案と詳細設計を進めた。

離れの構造体はゆがみが多く苦労したが、棟梁が工夫しながら、工事を進めてくれた。計画、設計、工事と時間がかかったが、更に素晴らしい住まいになり、次の世代に大切に住み継がれることを嬉しく思う。







［リフォーム賞］

北茨城の家 古民家再生

●有限会社 吉田建築計画事務所　住所／茨城県石岡市石岡1-1-8　電話／0299-56-3246　●協力事務所　施工会社／株式会社 福島工務店
●建物所在地／茨城県北茨城市　●建物用途／専用住宅　●構造／木造　●建坪面積／170.52㎡

明治から令和へ「暮らしの記憶」大切にした子供たちに残す故郷

北茨城の家は、阿武隈山系の山々に囲まれ、建物正面には田畑の広がる日本の原風景といえる地味豊かな立地。施主の「子供たちに故郷と思える家を残したい」との思いからはじまった計画です。

築110年ほど経過した古民家を、大黒柱や手斧削りの梁、差し鴨居、建具、欄間など、かつての「暮らし」の記憶を大切に残しながら、耐震性・温熱環境、機能的な間取、インテリアなど、現代の暮らしにあった住まいとして、3世代6人家族の住む新たな家としてリノベーションしました。外観は創建当時の意匠を継承し、大屋根はいぶし瓦、軒先は金属板で葺き、壁は漆喰と下見板張りの構成としました。

北茨城地方ならではの伝統的な設えと、明治から令和へと歴史の流れを大切に継承しつつ、古民家ならではの長い時間軸の中で醸し出される味わいある建物となりました。

最後に大工さんはじめ、多くの熟練した職人技に支えられて、完成した事を深く感謝申し上げます。









※建築文化賞の表記は、申し込み時点のものとなります。

第33回 茨城建築文化賞

審査委員　※敬称略・順不同・役職は令和2年10月現在

長島一道（国立大学法人筑波技術大学理事）／熊澤貴之（国立大学法人茨城大学工学部都市システム工学科准教授）／加藤研（国立大学法人筑波大学芸術系助教）／足立信幸（茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長）／江原秀明（（一財）茨城県建築センター理事長）／柴和伸（（一社）茨城県建築士会会長）

茨城建築文化賞の講評

筑波技術大学 理事　長島 一道

〈第一次審査の経緯〉

第33回の令和元年度は2020年3月17日に審査委員6名が出席して第一次審査を実施した。今回の応募作品数は30作品で住宅、小規模建築から大規模建築まで力作に恵まれた。

第一次審査会場に展示された全作品を審査委員6人が審査した後、1人1票の持ち点で建築の大小種類を問わず第一回投票を行った。そこで2票以上を獲得した作品について審議を行い第二回投票に移った。その結果、3票以上獲得した10作品を入選以上とした。さらに審議と第三回投票を行い、それまでに10票以上獲得した作品5点を第二次審査（現地審査）対象作品とした。

住宅部門においては、それまでに得票数の多い順に住宅部門の最優秀賞1点、優秀賞1点を決めた。またこれまでの得票数5票以上の作品について内容の審議を行い、得票数の多いリフォーム賞2点を選定した。

〈第二次審査の経緯〉

令和元年度の第二次審査は、新型コロナ感染症対策のため年度を跨いでの半年後に漸く実施できた。10月17日に審査員4名で5作品の現地審査を行った後、最終審査会場に場所を移した。そこでは審査員5名で、周辺環境との調和、計画・意匠、構造・設備としての新たな提案、空間としての美しさ・快適さを主な評価軸として、5作品について議論、評価を行い、その後1人1票の持ち点で投票に入った。

その結果「コロナ電気新社屋工場1＋2期」が最高得票数を集めて知事賞に決まった。順次審査対象作品に対する投票を行い、「石岡市庁舎」を議会議長賞に、「変わりゆく景色がある歯科医院山王歯科」を土木部長賞に、「下妻中学校校舎」を茨城新聞社賞に、「平成29・30年度牛久運動公園武道館」を茨城県建築士事務所協会長賞にそれぞれ選定した。

〈現地審査による入賞作品についての講評〉

■知事賞／コロナ電気新社屋工場1＋2期：bews／（有）ビルディング・エンバイロメント・ワークショップ 一級建築士事務所

本建築は住宅地にあって工場に見えない秘密基地的な面白さがあり、社屋工場の新たなあり方を空間化した。東北大震災で被災した旧工場は「操業しながらの建て替え」と「人が主体のヒューマンな工場」というクライアントの命題2つを受け、合理的提案で応えた専門家チームが8年かけて新工場を完成させた。

これを可能にした計画、技術が「1m床のレベル差のある断面構成」と「シームレスの大屋根を支えるコラムツリー」に象徴される。工場内に足を踏み入れるとその四周に1m上がった設備回廊テラスから工場全体が一望でき、このテラスが中央の「製造エリア」とその外周に張り付く「設計エリア」との日々の社内コミュニケーションの場となっている。工場の大屋根を支える細い枝の様に見える12本のコラムツリーは、柱が邪魔をしない広い空間を提供しており、製造部門の頻繁なレイアウト変更を容易にしている。

次世代生産拠点としての活動に大きく貢献する技術的解決策に裏付けられた斬新な空間と桜並木に映える軽やかな建築が審査員の高い評価を獲得した。

■議会議長賞／石岡市庁舎（㈱）久米設計

市民利用を旨とするシティホールにふさわしい空間として、来訪者が建物全体を見渡せ把握し易い一体的な構成ができている。筑波山のシルエットを彷彿とさせる二つの大屋根の下に南北に配置された主要執務領域があり、そこに挟まれた三層の吹抜に各階の市民ロビーが伸びていて、各窓口サービスへの容易なアクセスを可能にしている。

市庁舎北東側には大庇下の外部広場、エントランスホール、多目的ホールがあり、イベント時には互いの境界を取り払って内外一体的なイベント活動空間に変身できる点が良い。

防災拠点となるLCB庁舎として、敷地段差に合わせた免震装置、落下防止のハニカム構造木造天井、県産木材使用の木屋根構造、独立非常用電源があり、大屋根型ソーラーシステム、地中熱等再生可能エネルギーによる冷暖房システムの「先進エコ庁舎」を実現した。

市民が利用しやすい構成、地元要素を取り込んだデザイン、安心できる防災拠点としての建築を作り上げた意匠・構造・設備の総合力としての成果が評価された。

■土木部長賞／変わりゆく景色がある歯科医院山王歯科（㈱）and HAND建築設計事務所

「日本一眺めの良い歯科医院を」という明確なコンセプトを持つクライアントとアイデア溢れる周到な建築家の出会いにより、歯科診療所として類稀な景観建築を公園の中に舞い降りさせた作品である。幅27mのサッシレスガラスから北側に広がる大きな庭を視覚的に取り込み、あたかもその庭園の中に漂いながら受診する錯覚を受けそうな安らぎを与えるクリニックとなっている。

内部構造は基本的にはワンルームなのに、24mグリッドの木格子梁で構成される逆ボックス状の天井と高さ1.7mの隔て壁により、診療ブースは半個室空間の連続となっている。同時にその内部空間はスタッフの動線・作業効率を考えた視認性の高いワンルームにもなっており、スタッフ間で意思疎通しやすく柔軟で臨機応変な連携プレイを可能にしている。

必要医療機能に叶い、環境と一体となった提案性に溢れた快適な建築が評価された。

■茨城新聞社賞／下妻中学校校舎（㈱）三上建築事務所

子供達の視点から大きな提案と繊細な工夫がなされた学校建築である。

既存体育館と新校舎を接続して一体化する装置として、昇降口前広場と折板状の特徴的な大屋根を掛けて学校の顔を作っている。このアプローチから内部昇降口に入ると毎日の登下校で生徒達が行き交う大階段が出迎えており、これら一連の空間の流れが好ましい。

新校舎は東に臨む筑波山、隣接する砂沼の軸線を意図した100mを超える三層の建築となっており、特にグラウンド側に南面する影とエッジの効いたメリハリある表情が卒業生の母校となる建築として印象深い。2、3階の教室群フロアでは、その中庭上部の吹抜からグラウンド側に向かって廊下・オープンスペースクラスルーム・バルコニーと連続した凹凸のない空間が広がり、現在の多様な学習活動にフレキシブルに対応できる場を提供している。

この様な綿密なプランニングとデザイン、そして扁平柱と梁型の出ないヴォイドスラブの秀逸な構造計画に基づいた建築が評価された。

■県建築士事務所協会長賞／平成29・30年度牛久運動公園武道館（㈱）若柳建築事務所

シンプルなプランを覆う軒の深い切妻屋根が運動公園北東側に端正な佇まいを呈している。妻入り側の冠木門をイメージした玄関庇は、武道場としての重厚感も漂わせている。

各種武道の公式規格で競技可能な広さを確保するため、道場の主構造は耐久性に優れた鉄筋コンクリート造としつつ、上部構造は屋根の軽量化、意匠性を考慮した県産のヒノキ集成材と鉄骨造を組み合わせたハイブリッドトラス構造を採用している。その成果として天井高さが二段の4.5mと6.7mでスパン23m、桁行49mの道場を軽やかに作り出している。内観では屋根構成材の軽量化を図り、木造トラス組を採用して温かみのある和風となっている。

この様な大空間を可能とした鉄骨張弦梁と木トラス構造、木造庇梁との新鮮な組み合わせによる武道館に相応しい建築が評価された。

以上、茨城建築文化賞は例年作品の規模、種類、依頼主、工事費等を考慮せずに選定している。そこに選考の難しさはあるが、今後も本賞の趣旨に謳われた「文化の香り高い魅力あるまちづくりに貢献できる作品」を見出すべく審査に臨む思いでいる。時代の変化を読み解き、進取の気風ある、新たな提案作品を令和2年度も期待したい。

●平成30年度 プロポーザル報告
日 時／令和2年8月26日(水)
会 場／JA祭典なめがた
報 告／企画委員会　林 博之

報告 ［企画1］平成30年度 プロポーザル報告

「なめがたファミリーホール」が完成しました

平成30年度のプロポーザル「JAなめがた家族葬ホール」の建物が完成し、令和2年6月にオープンしました。

コロナ禍の折、大々的な見学会は実施出来ませんでしたが、去る8月26日企画委員会役員・担当委員計7名で、JA祭典なめがたの石井社長を訪ね、視察をして参りましたので、ここにご報告させていただきます。

尚、この度の企画に参加して下さいました会員の皆様には、厚く御礼申し上げます。

建物は、既存の中央ホール隣接地に「なめがたファミリーホール」として単独で設置されております。

今回整備されました既存竹林をバックに、茶色とクリーム色の外装に木の格子と梁を組み合わせた建物が、落ち着いた雰囲気を演出しておりました。

視察後、石井社長より、入札から完成に至る貴重なお話を伺いました。

設計・監理担当の㈱早川建築事務所様並びに建築士事務所協会に対し「この度は大変お世話になり感謝しております」とのお言葉をいただきました。

また、今後は小規模な葬儀のニーズが増えてくると思っており、この施設が地域のランドマーク的存在になればと期待している、との事でした。

当日、同席出来ませんでした㈱早川建築事務所 早川様よりコメントをいただいておりますので、ここに掲載させていただきます。

> 「招き入れる癒しのセレモニーホール」というコンセプトの元に、設計・監理を行ってまいりました。
> 計画の中で、施主様の要望を反映しながら設計をまとめ、工事では、施主様と建設会社のご協力のうえ、無事に完成となりました。
> 要望及びコンセプトを活かしながら、行方という風土に相応しい建物を目指し実現できたと思います。
> また、植栽計画につきまして、施主様にて検討していただき、雰囲気のある外構空間となりました。
> 最後に、施主様、プロポーザル関係者様に感謝申し上げます。

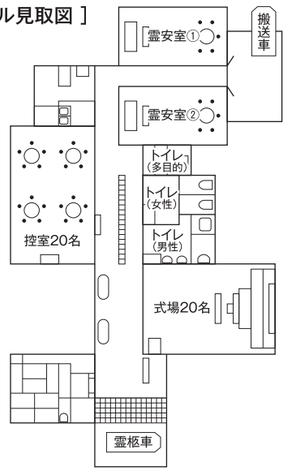
プロポーザル事業につきましては、会員の皆様に多数応募いただける様、継続して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。


心やすらかに故人を送るにふさわしいゆったりとした空間


企画委員会役員・担当委員計7名で、JA祭典なめがたの石井社長を訪ね、入札から完成に至る貴重なお話を伺った


既存竹林をバックに、茶色とクリーム色の外装に木の格子と梁を組み合わせた建物が落ち着いた雰囲気を演出

［ホール見取図］



［建物概要］
所在地／茨城県行方市
用途／家族葬ホール
建主／有限会社なめがたサービス
構造／木造平屋建て
建築面積／324.82㎡
延床面積／274.05㎡
建築設計・監理／株式会社 早川建築事務所
設備設計／株式会社 根本設備設計事務所
施工／株式会社 ミノワ

●住宅設計者募集
報 告／企画委員会　塙　万治

報告

［企画2］住宅設計登録者募集

お客様と設計者のマッチング



住宅設計登録者による提案の様子（打ち合わせする吉デザイン設計事務所）

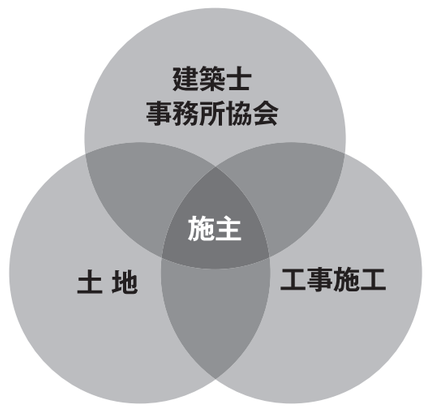
企画委員会では建築家育成事業の一環として、各自治体や団体などにその趣旨をご理解頂き、事務所協会員を対象とした小規模のプロポーザルを昨年度までに5事業程実施してまいりました。又前年度に実施したJAなめがた家族葬ホールが完成（本冊子にて［平成30年プロポーザル報告］詳細記載）してJAなめがた様からは高い評価を得たところです。今後も皆様のご参加ご協力をお願い致します。

しかしこのようなプロポーザルもなかなか通年の実施にいたらず、企画の連続性がなかなか難しい状況にあります。そんな中もっと多くの方が気軽に参加が出来て、設計事務所協会員あるいは賛助会員であることのメリットをしっかりと共感できる企画として、協会役員からご提案頂いたのが今般の住宅設計者登録です。

今回は協会会員の㈱鶴亀様が主体となって土地の提供と工事施工を行います。当協会としてはその住宅設計業務を会員に広告してコンペ参加者を募り、登録いただき、その中からそれぞれの会員のホームページや実績、面談などを通じてお客様に選定頂くシステムです。

当初は事務所協会が民間の事業者とどのように協力しながら関わっていくのかとイメージすら出来ない状況でありました。協会会員の中で住宅設計業務をグループで取り組んでいる有志の方々にお話を伺ったり、県の担当者から宅地建物取引業務に関しての説明などを聞いて基本的な知識の形成と共有をはかりました。

住宅設計は設計者としてそれなりの技量があってもお客様との相性や設計者のイメージなどに左右され、契約に至らないケースがまま有ります。又お客様のクレームも多く、それが事務所協会の評判にも及ぶのでは、と企画委員会の建築家育成小委員会において侃々諤々、又コロナ禍でもあり会議もままならない中、色々と危惧ばかりが先に立ちましたが役員の叱咤激励と担当小委員会の方々の情熱で、何とか企画として立ち上げることが出来ました。



そのような状況の中で協会会員の皆様に住宅設計者登録を呼びかけました。ご登録頂けるか不安でしたが、思いがけず19社という多くの事務所に登録頂く事になり大変有難く思っています。



住宅設計登録者
募集のチラシ

現在は土地購入者が先に決まった区画で設計者の選定を行っています。事業者（㈱鶴亀様）主導の元で順調に進行しています。もう数日で設計者を確定できる状況にあります。

残されたもう1区画は事務所協会と今般の登録設計者をお客様に充分にアピール出来るチラシを作製中です。それらの広告を通して土地購入者が決定後に設計事務所の選定を行っていく予定です。

今後、設計が始まり建物が完成して引渡す迄には、さまざまなご苦労があると拝察しますが、設計者のご活躍を陰ながら応援します。又このような企画は、以前もあったと存じますが協会としてどこまで関与するのか、どこまで後援できるかが問題になるところです。

そういうところを踏まえながら皆様のご要望に耳を傾けて二つの事業に育てていきたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

最後に今般ご登録頂いた協会会員の方々にお礼を申し上げると共に、今後の皆様のご健闘を祈念します。又この企画にご尽力頂いた事業者及び協会関係者に感謝申し上げ、これまでの経過報告といたします。





無垢と漆喰の住まいづくり

グラウンドホーム

TSURUKAME CO,LTD.

https://www.groundhome.com

■水　戸　店　水戸市笠原町561-1
■ひたちなか店　ひたちなか市西光地2-16-1
■石　岡　店　石岡市石岡13466-2
■土　浦　店　土浦市下高津4-19-7
■つ く ば 店　つくば市研究学園6-51-12

フリーダイヤル　0120-756-301

木造・鉄骨造建築物

特定建設業許可県知事／(特-28)第28391号

株式会社 鶴 亀

■本社
〒319-0126 茨城県小美玉市大谷790番地29
TEL:0299-47-0881　FAX:0299-47-0897

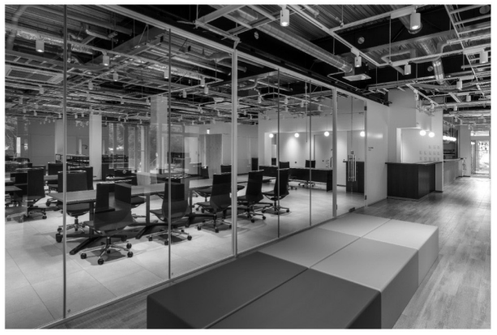
https://www.groundhome.com

株式会社 増山栄建築設計事務所

代表取締役　　増山　栄

本　　社　〒305-0047　茨城県つくば市千現1-12-2-305号室
TEL 029-869-6123　FAX 029-852-3810
設 計 部　〒300-0875　茨城県土浦市中荒川沖町1-29
TEL 029-843-6011　FAX 029-843-3122

URL：www.masuyama-arc.com
E-mail:sekkei@masuyama-arc.com



コワーキングスペース



屋外デッキテラス

「つくば市産業振興センター
（愛称：つくばスタートアップパーク）」
改修工事

設計・監理

Hayakawa Architecture Design Office

株式会社 早川建築事務所

〒310-0836　茨城県水戸市元吉田町1305-1

TEL 029-248-5112　FAX 029-248-5117

URL http://www.hayakawa-ado.jp

取締役会長　早川　富二雄

代表取締役　早川　敏史



人とふれあう豊かな街づくり

DAIICHI SEKKEI 株式会社 第一設計

代表取締役　大内　賢一

写真：国営ひたち海浜公園

【本　　社】〒312–0024　ひたちなか市勝倉 2671–1

【大平事務所】〒312–0023　ひたちなか市大平 3–5–3

TEL：029–274–3056　FAX：029–274–4604　E-MAIL：daiichi@intio.or.jp

URL：http://www.daiichi–design.jp

編集後記

Editors Voice

2021.February

新年を迎え、毎日、新型コロナの話題ばかりで、いささか食傷気味かもしれません。3密を避けるため外出自粛を要請され、テレワークやオンライン会議が急速に普及してきました。そして更なる感染拡大により、1月7日に新型コロナウイルス感染症に関する2回目の「緊急事態宣言」を1都3県に発出され、自粛生活になっています。その中で、協会においても、各行事やイベント等が、延期や中止となっていますので、編集内容を変えて、会報誌73号を発刊させて頂きました。通常、新年号は、1月に発刊でありますが、編集等に時間を要しましたことをお詫び申し上げます。又、73号発刊に際し、ご協力を頂きました皆様方にお礼を申し上げます。感染は今も続いているため、今後が見通せない状況ですが、広報委員会としてはなんとか具体的なPR活動を実行に移してまいりたいと思います。会員の皆様方におかれましては、引き続きご理解ご協力を頂きますよう、本年もよろしくお願いします。（和田）

皆さまのお手元に届くのは少し先になりましたが、新年いかがおすごしでしょうか。いろいろなイベントの中止や縮小を受け、会報誌の内容が今まで通りといかず発行が遅れました。記録としての会報誌という性格もあるのでご容赦ください。昨年、11月下旬に境町長をお訪ねしました。町長の話す自然体な姿勢の中に、リーダーシップたる熱量を肌で感じて参りました。本年も宜しくお願いいたします。（山田）

いまだ衰えを見せないコロナ禍。世界中の人々がその対応に苦しんでいます。あらゆる業種にその影響は大きく、もちろん私たち建設関係の私たちも、影響を受けているのはもちろんです。もともと建設業は世の中の景気に影響を受けやすい業種ですが、今回は計り知れない怖さが感じられます。このコロナ禍で激変する以前からAIなどの普及でいろいろな仕事そのものの価値が激変していました。私たち建築関係の業界も変化が求められ、変化しない組織、会社は淘汰されてしまいます。でもどのようなところから、又どのように変化すればいいのでしょうか。悩むところです。会報誌もそのような状況の中、皆様のお役に立つ内容はどのようなものか悩みながら進んでいきたく思います。（金澤）

一昨年の今頃の季節に、中国での新型感染病が簡単なトピックスニュースが流れました。昨年の今頃に、誰もがこの状況を予想していたでしょうか。慌ただしい一年のキーワードを考えるとするならば、それは多分きっと「危機的想定外」に尽きると思います。イベントも事業も活動も、全てが中止の状況に迫られ「想定外」の状況でした。誰もが困惑し、選択に迷い、苦渋の選択を判断することを対応するしかない、そんな一年だと改めて感じています。新しい一年は、誰もが活路を導き出すことを求め易い年にしたいと思います。明るく優しい時間を願いたいと感じています。そんな記事が掲載できる状況をただひたすら私は望みます。（久野）

増山相談役と大内常務、山田副委員長と境町の橋本町長を訪問しました。橋本町長と増山相談役は大学の先輩でもあり、学年・学科は違えども同じ学校・校舎の懐かしい話には親近感を感じます。昨今の状況下でも各方面で活躍されている先輩方の姿に私も頑張らねばと思いました。（茂垣）



(一社)日本自動車連盟　茨城支部事務所

MITSUO YOKOSUKA
ARCHITECTURAL CO., LTD.
㈱横須賀満夫建築設計事務所
事　務　所／茨城県水戸市南町2-1-18 アーキビル　〒310-0021
TEL.029(225)4353　FAX.029(225)1794
東京支店／東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキキョウ101号室　〒166-0011
TEL･FAX.03(5378)6617
つくば営業所／つくば市高見原3-1-23 アメニティー高見原202　〒300-1252
TEL.029(896)3978　FAX.029(896)3968
URL　http://www.design-yokosuka.co.jp　E-mail　yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp



株式会社andHAND建築設計事務所
代表取締役　飯島 洋省
andHAND®
www.andhand.co.jp
〒305-0033　Tel･Fax 029-855-3055
茨城県 つくば市 東新井 29 番地 13

淳設計工房
一級建築士事務所
〒311-4141
茨城県水戸市赤塚1丁目2005-124
エスペランサOG101
TEL　029-297-9335　FAX　029-297-9334



アーキテクチュアサービス　ナカザキ
nakazaki　taeko
代表：一級建築士　中﨑　妙子
〒319-0304　茨城県水戸市有賀町1066-3
TEL.029-259-4523　FAX.029-259-4523　携帯：090-4135-3091
茨城県委員職　茨城県地方港湾審議会委員　（一般財団法人）茨城県住宅管理センター 理事
茨城県入札監視委員会委員　（一般財団法人）茨城県建設技術公社 評議員